

【巡回指導<3>】 福島市立松陵中学校

日程： 2016年3月12日(土)

参加者： 松陵中学校 9名 / 川名先生

指導者： 斎藤真由美 (元パイオニアレッドウィングズ)、上田芳裕(元サントリーサンバーズ)

同行者： 事務局/小色尚子 会員/新日鐵住金(株) 1名



巡回指導3回目は真由美コーチの指導に上田コーチが参加してくれました。グループごとに年末イベントの感想を、また、今の自分の課題を一人一人考えて発表してもらいました。イベントでは他校のゲームが凄かった事、お世話になった横浜の生徒会の方が良くしてくれた事など沢山感想が寄せられました。今の自分の課題では、一人一人発表した後、真由美コーチが1回目の指導の際にそれぞれに聞いた目標や課題が述べられました。1回目より課題が増えていたり、内容が具体的になり、自分の気持ちをハッキリと伝えたりと向上している事が顕著に見られました。また、保護者の皆さんからも子供たち一人一人にメッセージをもらいました。普段はなかなか面と向かって伝えられないメッセージ。子供を想う優しく温かな空気に包まれた素敵な時間でした。そして、この日は震災5年を迎えた翌日でした。みんなで輪となり、手を繋いで黙祷を捧げました。真由美コーチから「自分を支えてくれる家族、仲間に感謝を忘れず、隣にいる人を想う事を忘れずに日々を大切に過ごして欲しい」と言葉がありました。



上田コーチからはレシーブ、スパイクなど丁寧に指導がありました。セッターの指導は、ボールの捉え方、目線、体の向け方など、一つ一つ分かりやすく、トスの質がどんどん良くなっていきました。笑いを交えての上田コーチの指導にみんなの笑顔が弾けます。



全員がノーミスで3回連続でスパイクを打つという練習にトライしました。何度とミスをしながらも諦めずに挑戦し、みんなで集中して達成しました。真由美コーチから「クリアするだけでなく、質の高い取り組みが大切。練習のための練習はしない」と、達成する事だけでなく、常に挑戦し、高める事の大切さを伝えました。



サーブの練習ではルーティンを決めて打つ事、正しいフォームで相手コートにターゲットを置いて強く打つなどを行いました。震災5年、チームが心を一つにして話をしたり、トライしたり、誰かを想ったりと参加した全員がバレーを通して大切なことを感じながら3回目の巡回指導を終えました。